

こたえ 矛盾

基礎 ③

矛盾

(中国の古い話)

昔、中国の楚^そという国に、たてとほこを売る商人がいました。ほこは、相手のつくための長いやりのような武器^{ぶき}で、たては、それをふせぐための板です。商人は、まず、たてを高くかかげて言いました。「このたてのかたいことといったら、どんなにするどいほこでも、つき通すことはできません。」次に、ほこを手にとって言いました。「このほこのするどいことといったら、どんなにかたいたてでも、つき通してしまいます。」すると、話を聞いていた一人の客がたずねました。「では、そのほこで、そのたてをついたら、どうなるのかね。」商人は、何も答えられませんでした。まわりで聞いていた人たちは、どつとわらいました。

この話から、前と後ろで言っていることをつじつまが合わないことを、「矛盾^{むじゆん}」というようになりました。「矛^む」はほこ、「盾^{じゆん}」はたてのことです。

1

商人が売っていたのは、たてと何ですか。

たてと

ほこ

2

客の質問に、商人はどうしましたか。

ア

すぐに答えた。

イ

何も答えられなかった。

ウ

おこって帰った。

3

商人の言葉の、どこがおかしいのですか。

ア

ほこもたても、どちらも「一番」だと言っていること。

イ

ねだんが高すぎること。

ウ

品物が古いこと。

4

つじつまが合わないことを、何といいますか。

「矛盾^{むじゆん}」